

基本的な使い方：`\縁取り{#1}` で縁取りができる。段落をまたいても大丈夫。数式などを含んでも OK。

カスタマイズ：`\縁取り [width=縁取りの線の太さ,draw=縁取りの線の色,fill=縁取りの塗りの色]{#1}`

縁取りの線の太さ：pt 単位の数値で指定する。pt という文字自体は不要で，pt 単位の数値のみを記す。

縁取りの線の色，縁取りの塗りの色：グレースケールの色の数値を指定する。0 が黒，1 が白。

※ `\縁取り [draw=1 0.5 0,fill=0 0.5 1]` のように 3 つの数値を指定した場合は，RGB 値と見なされてフルカラーが使用可能。

デフォルト値の変更方法

`\def\縁取りの線の太さ{0.25} %% pt 単位の数値 (pt という文字自体は不要)`

`\def\縁取りの線の色{0} %% RGB 値を指定する場合は 3 つの数字を並べる`

`\def\縁取りの塗りの色{1} %% RGB 値を指定する場合は 3 つの数字を並べる`

## 【使用例】

TeX で縁取りができてしまった！ これは大変！  $\frac{\log x}{e^x}$  なんかも大丈夫！

El Capitan から搭載されたヒラギノ角ゴシックW9

$$f(x) = \sin x + \int_0^x f(t) dt$$

下線の中でも使える！